

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

「全国学力・学習状況調査」について、学校としての成果と課題、改善策につきましてお知らせいたします。今後も、学校全体としてさらなる学力向上に向けた取り組みを推進してまいります。

国語科

○成果となってあらわれたもの

- ・漢字や語句の意味など、言語事項に関する問題の正答率が高く、日々の学習の成果がよい結果につながっています。

●課題と考えられるもの

- ・記述式の解答では、自分の考えを文章で表現することに課題が見られ、また、ねばり強く解答しようと努力しているものの、求められている解答の方向性を把握できていないところも見られました。
- ・行書体の特徴についての理解が浅く、書写分野の学習事項の定着が課題となりました。

★改善策

- ・漢字テストや定期テストでの語句の意味の出題を継続し、引き続き言語事項に対する理解を深めていくよう指導します。
- ・「書くこと」の経験を増やし、「思い」や「考え」を表現する力を高められるよう指導します。

数学科

○成果となってあらわれたもの

- ・数と式の領域で、簡単な連立方程式を解くことができます。また、文字を利用した式を明確に捉え、考えることもできています。資料の活用の領域では、確率の意味を理解し、活用することができます。図形の領域では、証明の根拠として用いられる合同条件を理解し、活用することができます。

●課題と考えられるもの

- ・数と式の領域で、事象が成り立つ理由や新たな事柄を見だし説明することや、図形の領域で、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することが課題となりました。

★改善策

- ・数と式の領域で、計算問題だけでなく、式の変形やその意味を読み取り説明できるように、問題から生じた課題に対して思考し続ける授業づくりを進めます。
- ・図形の領域で、自分なりの考えをもって問題に取り組み、その考えを他者と交流し思考を高める活動を設定していきます。

理科

○成果となってあらわれたもの

- ・モデルを使った実験において、条件制御について問う問題では変える条件と変えない条件を正しく選択することができます。
- ・水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表す問題では、化学変化に関する知識及び、技能を活用することができます。

●課題と考えられるもの

- ・観測データを用いて考察を行った他者の考えを多面的・総合的に検討して批判的思考を導く問題に課題が見られました。
- ・水素を燃料とする装置について、おおもととして必要な資源を問う部分に注目する問題では、エネルギーについての解釈に課題が見られました。
- ・おもりにはたらく重力とばねから働く弾性力についての解釈に課題が見られました。

★改善策

- ・エネルギーの領域において、具体的イメージをもつことができるようICTを活用したり、課題再確認の時間を設けます。
- ・他人が考えた考察について、その思考の内容を理解・解釈し、分析する活動(批判的思考を培う活動)を、意図的に学習活動に設定していきます。

生徒質問紙

●課題と捉え教育活動の改善充実を図るポイント

- ・「規則正しい生活を送っている」生徒の割合をさらに高め、あわせてSNSの利用状況が、「1日2時間以上」の生徒の割合を少なくしていく取組として、教育相談の充実を図り、「計画的に学習を続けることができる」生徒の割合を高めていきます。
- ・「自分には良いところがあると思う」生徒、「将来の夢や希望を持っている」生徒の割合をさらに高められるよう、自己肯定感を持たせる教育活動の充実を図ります。
- ・ICTを活用した学習については、有用性について自覚し、興味を持って取り組んでいる生徒の割合が高いことから、引き続き、学校においてもタブレットを効果的に活用した授業を展開していきます。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の割合を引き続き100%となるよう心の教育の充実を図ります。